

WILCOMM

Complete User Manual for:

 **WilMail 受信機能**

MAL001 (Last Update : 2002/5/7)

WilComm AS400 V7.15

© Copyright 2000
K.I.S.S. Inc.



WilMail 受信機能

【事前準備】

WilComm メール受信機能用メールアカウントを作成します。

※WilComm では、メールサーバーから受信したメールはメールサーバーから削除されますので、WilComm 受信用に専用のメールアカウントを用意します。

【WilComm／PC の設定】

■ ドメイン名の確認

[スタート]-[プログラム]-[WilComm Universal]-[WilComm Server]を起動します。



[ツール]・[オプション]を開きます。

ウィルコム サーバー オプション...

☒ 以下の日数より古い、転送済、取消、転送済(問題あり)の各メッセージを自動的に除去します。

7 日 0 hour(s)

☒ ウィルコム メッセージ データベースを開始時点で圧縮します。

バックアップ デイルクトリをチェックしてファイルを取得する間隔: 3 秒

ジョブの実行結果を更新する間隔: 30 秒

実行結果ファイル作成デイルクトリに、ホストへ送信する実行結果ファイルを作成する間隔: 30 秒

ウィルコムは、ファイル処理した後、デイルクトリにバックアップしますが、そのバックアップファイルを自動的に除去しますか？

☒ はい、以下の日数より古いファイルを除去します。 7 日

WilComm can generate email notification messages for the WilComm messages. How often do you want WilComm server to generate email notifications?

I want WilComm server generate notifications every 30 second(s)

送信メールを作成する際に、Eメール アドレスのドメイン名として、以下の文字列を使用します。ドメイン名は、Eメール アドレスの“@”マークの右側部分です。

Eメール アドレス ドメイン名: @ yourcompany.co.jp

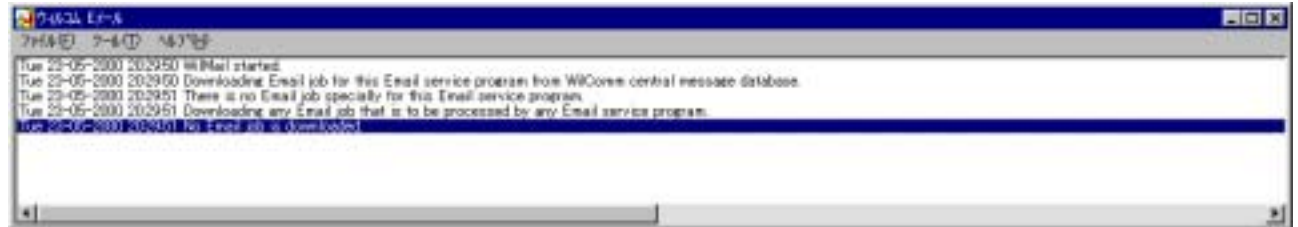
OK キャンセル

[E メール アドレス ドメイン名]の項目を適切なものに書き換えます。

[OK]ボタンを押します。

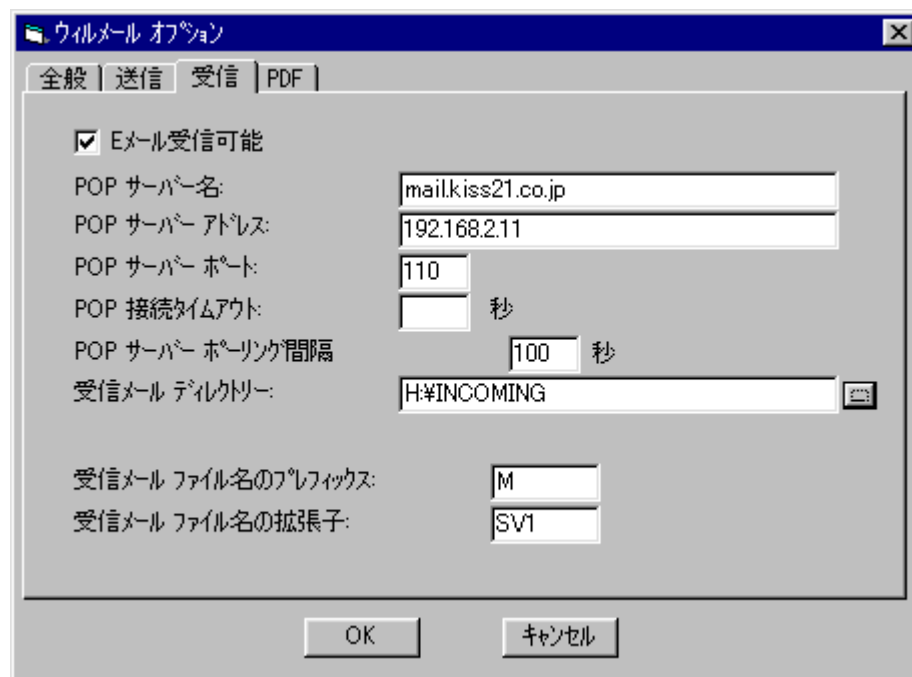
■ POP サーバーの設定

[スタート]-[プログラム]-[WilComm Universal]-[WilMail]を起動します。



[ツール] - [オプション]を開きます。

[受信]タブをクリックします。



[Eメール受信可能]のチェックボックスに印を付けます。

POP サーバー名、POP サーバーアドレスを指定します。

[受信メールディレクトリー]を H:\INCOMING に変更します。 **(すべて大文字)**

※ドライブ名は共用フォルダー (QDLS/SI) のネットワークドライブ名にします。

[OK]ボタンを押します。

■ 受信用メールアカウントの設定

[スタート]-[プログラム]-[WilComm Universal]-[WilComm Config]を起動します。

次に、[表示] - [Eメール ユーザー]を開きます。

[編集] - [新規作成]を実行します。

新規WilComm Eメール ユーザーの追加

ユーザー ID: QSECOFR
WilComm Eメール ユーザーのユーザー IDは、重複して使用することはできません

氏名: QSECOFR

送受信タイプ:
☐ 送信のみ ☐ 受信のみ ☒ 送信と受信

Eメール受信
POP ユーザー名: QSECOFR
POP パスワード: QSECOFR
デコードした添付ファイルを保管するディレクトリ:
C:\WilComm Incoming Email Attachs\QSECOFR

Eメール送信
メールボックス名: QSECOFR
メールボックス名は、Eメール アドレスの“@”マークの左側部分
送信メールに添付するファイルを取り出すディレクトリ:
C:\WilComm Outgoing Email Attachs\QSECOFR

☒ WilComm Eメール メッセージ送信用にEメール ユーザーが設定されていない場合、このEメール ユーザーを送信者として使用する。

OK キャンセル

- ★ 「送受信タイプ」は“受信のみ”または“送信と受信”を選択します。
- ★ 「POP ユーザー名」、「POP パスワード」に WilComm 用のメールアカウント名とパスワードを入力します。
- ★ 「デコードした添付ファイルを保管するディレクトリ」に添付ファイルを保管するフォルダーを指定します。
※添付ファイルの内容を AS/400 に取り込む場合は、共用フォルダー（QDLS/SI）に保管用フォルダーを作成し、そのフォルダーを指定するようにします。

以上で、メール受信のための PC サーバー側の設定は終了です。

【WilComm／AS の設定】

■ 受信したメールによる、ユーザーアプリケーションの自動起動の設定

AS/400 にユーザーQSECOFR でサインオンします。

コマンドラインから GO W を実行して WilComm のメインメニューを表示させます。

MN000101

WILCOMM スプールファイル配布管理システム

システム : S103GWMM

次の中から1つを選んでください。

1. 新規メッセージの作成
2. メッセージ・リストの表示
3. ディレクトリー照会
4. ディレクトリー・メンテナンス
5. WILPLEX ユーザーへの AS/400 メッセージ送信
6. 世界時計
7. クイック・メッセージ表示
8. クイック送信

11. ウィルスプール・ユーティリティ

40. ウィルコム OUTQ インターセプター・メニュー

50. スプールファイル・インターフェース・メニュー

続く ...

選択項目またはコマンド

====>

F3= 終了 F4=プロンプト F9=コマンドの複写 F12= 取消し F13=ユーザーサポート

F16=AS/400 メインメニュー

(C) 著作権 WILKINSON COMPUTER SERVICES

VSN : 7.11

メニューが表示されましたら次ページキーを押します。

MN001301	WILCOMM スプールファイル配布管理システム	システム : S103GWMM
次の中から 1 つを選んでください。		
60. アプリケーション・コントロール・メニュー		
70. WILCOMM セキュリティ・メニュー		
80. デモンストレーション・メニュー		
90. サイン・オフ		
		終了
選択項目またはコマンド		
==> 60		
F3= 終了 F4=プロンプト F9=コマンドの複写 F12= 取消し F13=ユーザー・サポート		
F16=AS/400 メイン・メニュー		

選択項目またはコマンドに 6 0（アプリケーション・コントロール・メニュー）を入力し
実行キーを押します。

MN001304

アプリケーション・コントロール・メニュー

システム : S103GWMM

次の中から1つを選んでください。

11. メッセージ・プレフィックス・メンテナンス
12. ユーザー・プロファイル・メンテナンス
13. システム設定メンテナンス
14. サービス詳細メンテナンス
15. メッセージ・ソースファイル作成
16. コントローラー・ユニット照会
17. サービス照会
18. モニター開始
19. モニター活動状況照会 (SUBSYSTEM WILPLEX)
20. モニター停止 (SUBSYSTEM WILPLEX)
21. WILPLEX エディター・特別機能メンテナンス
22. 世界時計メンテナンス
23. 検索テーブル・メンテナンス
24. WILPLEX ファイルの再構成

続く ...

選択項目またはコマンド

==> 23

F3= 終了 F4=プロンプト F9=コマンドの複写 F12= 取消し F13=ユーザー・サポート

F16=AS/400 メイン・メニュー

(C) 著作権 WILKINSON COMPUTER SERVICES

VSN : 7.11

選択項目またはコマンドに23（検索テーブル・メンテナンス）を入力し実行キーを押します。

KOIDE WILCOMM - 検索 テーブル メンテナンス 2:22PM 1/09/17

新規 テーブル 作成には、テーブル 名を入力 :

テーブル	記述	システム 値
<u>2</u> RCV	RCV	

2= 更新 3= 複写 4= 削除 F3= 終了 F12= 前画面

テーブル“ R C V ”（初期導入時はデフォルト）のオプションに2（更新）を入力し、実行を押します。

KOIDE WILCOMM - 検索 テーブル メンテナンス 2:26PM 1/09/17

検索 テーブル: RCV

タイプ: T 開始/終了行: 1 999 開始/終了桁: 1 999 ワイルド:

検索 内容

アクション

パラメータ

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14

F3= 終了 F5= 入力項目短縮 F8=カーソルの後に挿入 F12= 前画面
このテーブルには登録情報がありません。

F 5 = 入力項目短縮

F 5 キーを押すことにより、検索テーブルにおけるスペース行が除去されます。（検索テーブルメンテナンスを終了するとき随時実行されます。）

F 8 = カーソルの後に挿入

F 8 キーを押すことにより、現在のカーソル位置の後ろに検索テーブルの入力ラインが 1 0 ライン追加されます。新規に検索の詳細情報を挿入するときこのキーを使用します。挿入された 1 0 ラインの内、使用されなかったラインはこの機能終了時に除去されます。

R o l l u p

ロールアップキーを押すことにより、最終ライン以降に新規に検索情報設定用のラインが追加されます。

<見出しレベルの定義>

タイプ

“ T ”を入力します。

開始/終了行

検索対象とするメッセージテキストの開始、終了行を入力します。

開始/終了桁

指定された行のどの桁を検索対象とするかを定義します。

<検索の詳細レベル>

検索内容（変数）

検索したいデータを定義します。自由に検索したい文字列を定義できます。

個々のアクションコード、パラメーターと共に無数の検索内容（変数）を定義することができます。Wi l C o m mは検索範囲において、まず1番目の変数を検索、なければ2番目のものというように全ての変数に対し検索を行い、変数と同じ文字列が検索されたとき、その変数に定義されたアクションが実行されます。

アクションコード・パラメーター

アクションコードとそれに関連するパラメーターは以下のとおりです。

<u>アクションコード</u>	<u>ファンクション</u>	<u>パラメーター</u>
E	実行	ライブラリー名／プログラム名
¥	開始／終了	検索終了にはブランク 開始にはテーブル名

以下に個々のファンクションの説明を行います。

“ E ”－実行

パラメーターで指定されたプログラムを実行します。プログラムには自動的に以下のパラメーターが渡されます。

- 1) メッセージ名（10桁）
- 2) ソースファイル名（10桁）
- 3) ソースファイルライブラリー（10桁）
- 4) 検索タイプ（1桁）

注記： 使用可能な検索タイプは次のものです。

T	－	送信
C	－	中止
I	－	受信

“ ㄣ ” — 終了/開始

次の2つの機能を行います。

終了機能：

パラメーターがブランクであった場合、この時点でメッセージ検索が終了します。

開始機能：

パラメーターに分岐したい検索テーブル名を指定します。現在のメッセージに対してここで指定されたテーブルにより処理が行われます。その後、処理は前テーブルの分岐後の行より処理を続行します。（検索テーブルを複数設定する場合に使用）

“ 開始 ” 機能使用例

ひとつの検索テーブルに膨大な行を定義する代わりに、第1番目のテーブルより複数の検索テーブルの処理を行うことができます。これにより検索テーブルのメンテナンスが容易になります。

以上で、検索テーブルの設定は終了です。

これにより、メールの件名または本文の記述されている内容を元に、ユーザーアプリケーションの起動が行われます。

ユーザーアプリケーションのコーディング方法につきましては、別紙「WilComm受信機能サンプルプログラム」を参照して下さい。